



## 2025年3月期 第2四半期(中間期) 決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月8日

上場会社名 株式会社テレビ朝日ホールディングス

上場取引所 東

コード番号 9409 URL <https://www.tv-asahihd.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 早河 洋

問合せ先責任者 (役職名) 経理局長 (氏名) 齊藤 芳徳

TEL 03-6406-1115

半期報告書提出予定日 2024年11月13日

配当支払開始予定日

2024年12月6日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨)

### 1. 2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(2024年4月1日~2024年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年中間増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	153,835	4.8	6,047	39.5	10,542	22.0	7,699	16.4
2024年3月期中間期	146,829	1.4	4,336	△40.9	8,641	△30.5	6,613	△28.9

(注) 包括利益 2025年3月期中間期 14,776百万円( 11.2%) 2024年3月期中間期 13,293百万円( 244.9%)

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	75.77	—
2024年3月期中間期	65.09	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	532,979	434,146	81.1
2024年3月期	520,432	423,577	81.0

(参考) 自己資本 2025年3月期中間期 432,184百万円 2024年3月期 421,751百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	20.00	—	40.00	60.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期(予想)	—	—	—	30.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期 期末配当40円00銭には、記念配当10円00銭が含まれております。

### 3. 2025年3月期の連結業績予想(2024年4月1日~2025年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	312,000	1.3	16,000	29.7	22,000	10.4	20,000	16.7	196.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P.9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(中間期)

2025年3月期中間期	108,529,000株	2024年3月期	108,529,000株
2025年3月期中間期	6,902,143株	2024年3月期	6,912,696株
2025年3月期中間期	101,620,826株	2024年3月期中間期	101,608,516株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。業績予想の前提につきましては【添付資料】P.4「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・決算補足説明資料は、2024年11月8日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

・当社は、2024年11月12日(火)にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算説明資料については、開催同日に当社ホームページに掲載する予定です。

[添付資料の目次]

1. 経営成績等の概況	P. 2
（1）当中間期の経営成績の概況	P. 2
（2）当中間期の財政状態の概況	P. 3
（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	P. 5
（1）中間連結貸借対照表	P. 5
（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	P. 7
（3）中間連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
（継続企業の前提に関する注記）	P. 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）	P. 9
（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）	P. 9
（セグメント情報）	P. 10

## 1. 経営成績等の概況

### （1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間の日本経済は、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあり、緩やかに回復を続けています。

このような経済状況のなか、当中間連結会計期間の売上高はスポット収入が好調なテレビ放送事業セグメントや、音楽出版事業、イベント事業が好調なその他事業セグメントの増収などにより、1,538億3千5百万円（前年同期比+4.8%）となり、売上原価、販売費及び一般管理費の合計が1,477億8千8百万円（同+3.7%）となりました結果、営業利益は60億4千7百万円（同+39.5%）となりました。また、経常利益は105億4千2百万円（同+22.0%）、親会社株主に帰属する中間純利益は76億9千9百万円（同+16.4%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

#### ①テレビ放送事業

タイム収入は、アドバイザーの宣伝活動における固定費削減傾向が継続しているものの、レギュラー番組のセールスについては前年同期と同水準を維持しました。一方で、単発番組につきましては、「パリオリンピック」や「サッカーAFC U23アジアカップパリ五輪アジア最終予選」などのセールスが堅調に推移したものの、前年同期の「世界水泳福岡2023」「FIBAバスケットボールワールドカップ2023」「全英オープンゴルフ」などの反動により減収となりました。以上の結果、タイム収入合計は390億7千7百万円（前年同期比△0.4%）となりました。

スポット収入は、視聴率が好調に推移していることや東京地区の広告出稿量が前年同期を上回ったことなどから増収となりました。業種別では、「食品」「自動車・関連品」「飲料・嗜好品」などが好調な一方で、「趣味・スポーツ用品」「外食・各種サービス」などは減収となりました。以上の結果、スポット収入は418億4千2百万円（同+3.9%）となりました。

また、BS・CS収入は129億3千5百万円（同△2.1%）、番組販売収入は海外向けアニメ販売が好調であったことから72億2千5百万円（同+9.7%）、その他収入は102億5千9百万円（同△6.0%）となりました。

以上により、テレビ放送事業の売上高は1,113億4千万円（同+1.0%）、営業費用は1,092億5千万円（同+0.2%）となりました結果、営業利益は20億9千万円（同+78.2%）となりました。

#### ②インターネット事業

無料見逃し動画配信サービス「TVer」等における広告収入や動画配信プラットフォームへのコンテンツ販売などにより、インターネット事業の売上高は139億1千9百万円（前年同期比+4.9%）、営業費用は128億4千1百万円（同+2.0%）となりました結果、営業利益は10億7千7百万円（同+58.3%）となりました。

#### ③ショッピング事業

通販番組「じゅん散歩」が引き続き好調に推移したことや、通販特番「通販をスクープしてみた!!」や「今田耕司の買うならイマダ『おかんと通販してみた!』」が好評を博したことなどにより、ショッピング事業の売上高は98億2千5百万円（前年同期比+7.9%）、営業費用は89億9千2百万円（同+7.9%）となりました結果、営業利益は8億3千3百万円（同+8.2%）となりました。

#### ④その他事業

音楽出版事業は所属アーティストの「ケツメイシ」がコンサートツアーを実施したことなどにより増収となったほか、イベント事業は「テレビ朝日ドリームフェスティバル」「The Performance」を開催したことなどにより増収となりました。

以上により、その他事業の売上高は261億4千4百万円（前年同期比+21.4%）、営業費用は240億7千9百万円（同+21.8%）となりました結果、営業利益は20億6千5百万円（同+16.7%）となりました。

報告セグメントごとの経営成績の状況は、次のとおりであります。

（単位：百万円、％表示は対前年同期増減率）

	売上高		
	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	
テレビ放送事業	110,243	111,340	1.0%
インターネット事業	13,265	13,919	4.9%
ショッピング事業	9,102	9,825	7.9%
その他事業	21,534	26,144	21.4%
調整額	△7,317	△7,394	—
合計	146,829	153,835	4.8%

（単位：百万円、％表示は対前年同期増減率）

	セグメント利益		
	前中間 連結会計期間	当中間 連結会計期間	
テレビ放送事業	1,173	2,090	78.2%
インターネット事業	680	1,077	58.3%
ショッピング事業	770	833	8.2%
その他事業	1,769	2,065	16.7%
調整額	△57	△19	—
合計	4,336	6,047	39.5%

（2）当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比125億4千6百万円増の5,329億7千9百万円となりました。これは、現金及び預金が303億6千万円減少したものの、有価証券が210億9千1百万円、建設仮勘定などの増加により有形固定資産の「その他（純額）」が127億5百万円、投資有価証券が125億7百万円増加したことなどによります。

負債合計は、前連結会計年度末比19億7千7百万円増の988億3千2百万円となりました。これは、未払金などの減少により流動負債の「その他」が19億4千1百万円減少したものの、繰延税金負債などの増加により固定負債の「その他」が37億6千8百万円増加したことなどによります。また、純資産合計は、前連結会計年度末比105億6千9百万円増の4,341億4千6百万円となりました。この結果、自己資本比率は81.1%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

視聴率が好調に推移していることや東京地区のスポット広告の出稿量が前年同期を上回る水準であることなどから、テレビ放送事業の売上高は前回予想（2024年8月2日公表）を上回る見込です。また、退職給付費用など営業費用についても前回予想を下回る見込であることから、売上高、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも前回予想を上回る見込です。

2025年3月期通期連結業績予想数値の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	309,000	13,000	20,000	18,000	177.14
今回発表予想（B）	312,000	16,000	22,000	20,000	196.80
増減額（B－A）	3,000	3,000	2,000	2,000	
増減率（%）	1.0	23.1	10.0	11.1	
（ご参考）前期実績 （2024年3月期）	307,898	12,337	19,919	17,138	168.66

※上記の予想は、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は、環境の変化により異なる結果となることがあります。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	47,126	16,766
受取手形及び売掛金	84,029	77,438
有価証券	23,898	44,990
棚卸資産	10,227	10,394
その他	10,094	12,788
貸倒引当金	△76	△73
流動資産合計	175,300	162,304
固定資産		
有形固定資産		
土地	64,664	64,763
その他（純額）	54,977	67,682
有形固定資産合計	119,641	132,445
無形固定資産		
その他	4,863	4,777
無形固定資産合計	4,863	4,777
投資その他の資産		
投資有価証券	202,158	214,666
その他	19,012	19,256
貸倒引当金	△545	△470
投資その他の資産合計	220,626	233,452
固定資産合計	345,131	370,674
資産合計	520,432	532,979
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,537	8,869
その他	59,671	57,729
流動負債合計	68,208	66,598
固定負債		
退職給付に係る負債	10,374	10,193
その他	18,271	22,040
固定負債合計	28,646	32,233
負債合計	96,855	98,832

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	36,699	36,710
資本剰余金	70,494	70,505
利益剰余金	284,581	288,030
自己株式	△13,598	△13,579
株主資本合計	378,175	381,667
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	40,025	46,643
繰延ヘッジ損益	0	6
為替換算調整勘定	1,703	1,990
退職給付に係る調整累計額	1,846	1,876
その他の包括利益累計額合計	43,576	50,516
非支配株主持分	1,825	1,962
純資産合計	423,577	434,146
負債純資産合計	520,432	532,979



（2）中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
売上高	146,829	153,835
売上原価	111,673	116,554
売上総利益	35,155	37,280
販売費及び一般管理費	30,819	31,233
営業利益	4,336	6,047
営業外収益		
受取配当金	753	742
持分法による投資利益	3,341	3,563
その他	254	288
営業外収益合計	4,349	4,595
営業外費用		
固定資産廃棄損	27	64
その他	16	35
営業外費用合計	44	99
経常利益	8,641	10,542
特別利益		
投資有価証券売却益	268	—
特別利益合計	268	—
税金等調整前中間純利益	8,910	10,542
法人税等	2,216	2,706
中間純利益	6,694	7,836
非支配株主に帰属する中間純利益	80	136
親会社株主に帰属する中間純利益	6,613	7,699

中間連結包括利益計算書

（単位：百万円）

	前中間連結会計期間 （自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）
中間純利益	6,694	7,836
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,713	6,261
繰延ヘッジ損益	—	8
為替換算調整勘定	74	127
退職給付に係る調整額	252	43
持分法適用会社に対する持分相当額	1,559	499
その他の包括利益合計	6,599	6,940
中間包括利益	13,293	14,776
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	13,213	14,640
非支配株主に係る中間包括利益	80	136

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）

（税金費用の計算）

税金費用については、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

（セグメント情報）

I 前中間連結会計期間（自 2023年4月1日 至 2023年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	108,550	11,993	9,097	17,187	146,829	—	146,829
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,693	1,272	4	4,346	7,317	△7,317	—
計	110,243	13,265	9,102	21,534	154,146	△7,317	146,829
セグメント利益	1,173	680	770	1,769	4,393	△57	4,336

（注） 1 セグメント利益の調整額△57百万円は、セグメント間取引消去△101百万円、当社における子会社からの収入1,029百万円及び全社費用△985百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					調整額 (注1)	中間連結 損益計算書 計上額 (注2)
	テレビ放送 事業	インターネット 事業	ショッピング 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	109,644	12,884	9,796	21,509	153,835	—	153,835
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,696	1,034	28	4,634	7,394	△7,394	—
計	111,340	13,919	9,825	26,144	161,229	△7,394	153,835
セグメント利益	2,090	1,077	833	2,065	6,066	△19	6,047

（注） 1 セグメント利益の調整額△19百万円は、セグメント間取引消去△63百万円、当社における子会社からの収入1,028百万円及び全社費用△984百万円であります。全社費用は、主に提出会社のグループ経営管理に係る費用であります。

2 セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。